2025 年度外国学校卒業学生特別選考小論文問題（第 1 種）

2025 年 2 月 25 日　9 時 30 分～12 時

科　類	文科一類

受験番号	G					

（注意）解答は、A・B それぞれ解答用紙 1 枚で解答すること。

※上欄に、受験番号を記入しなさい。

A（日本語で解答する問題）

2024 年は世界各地で重要な選挙が行われ、「選挙の年」と呼ばれた。ポピュリズムの拡大が話題になる一方、選挙制度も結果も国によって様々であった。下記の年表は、その一部を記したものである。ここに記された事例にできるだけ広く（必ずしも全てでなくてよい）言及しつつ、世界の民主主義の現状について論じなさい。

3 月 17 日　ロシア大統領選挙：ウクライナ侵攻を主導するプーチン（Putin）が当選した。

6 月 4 日　インド下院総選挙：ヒンドゥー至上主義を掲げる与党インド人民党（BJP）が議席を減らし、単独過半数を維持できなかった。

6 月 28 日　イラン大統領選挙：改革派のペゼシュキアン（Pezeshkian）が第一位となった。イランでは護憲評議会がイスラム体制への忠誠等の基準で立候補者の資格審査を行う。保守派だけが資格を得ることもあるが、今回は投票率を上げるために改革派のペゼシュキアンにも資格を認めたところ、同人が第一位となり、7 月 5 日の決選投票で当選した。

6 月 30 日　フランス下院選挙：極右「国民連合」（RN）が躍進した。ただし多くの選挙区では上位得票者による決選投票が行われる。決選投票に向け、マクロン（Macron）大統領率いる与党連合は、左派連合と「共和国戦線」（Republican Front, front républicain）を組んで国民連合に対抗した。7 月 7 日の決選投票で共和国戦線が多数を獲得した。

10 月 27 日　日本衆議院選挙：「裏金」問題への批判を受け、与党（自民党・公明党）が過半数割れした。

10 月 30 日　ボツワナ（Botswana）国民議会選挙：野党が圧勝した。独立以来 58 年間、同国を統治してきた与党は敗北を認め、政権を野党に移譲した。

11 月 5 日 アメリカ大統領選挙：アメリカ第一主義を唱えるトランプ（Trump）が当選した。

B（日本語で解答する問題）

各種の法制度や契約、ルール設定の在り方には、①性善説から説明できるものと②性悪説から説明できるものとがある。立法者や契約締結者、ルール設定者としては、性善説と性悪説のどちらを原則とするべきか。①と②の双方についてなるべく具体的な例を挙げた上で、あなたの経験も交えながら論じなさい。